

<b>Title</b>	第 27 回大学教育研究セミナー：実施報告
<b>Author</b>	橋本, 智也
<b>Citation</b>	大阪市立大学大学教育. 18 卷 2 号, p.69.
<b>Issue Date</b>	2021-04-30
<b>ISSN</b>	1349-2152
<b>Type</b>	Departmental Bulletin Paper
<b>Textversion</b>	Publisher
<b>Publisher</b>	大阪市立大学大学教育研究センター
<b>Description</b>	
<b>DOI</b>	10.24544/ocu.20210617-005

Placed on: Osaka City University

## 第27回大学教育研究セミナー 実施報告

日時 : 2021年2月19日(金) 15:15 ~ 16:55  
場所 : オンライン開催 (Zoom Meeting)  
主催 : 大阪市立大学 大学教育研究センター  
共催 : 全学共通教育教務委員会、全学FD委員会、入試課  
対象 : 大阪市立大学、大阪府立大学 教職員  
講師 (兼企画担当)  
: 平知宏 大学教育研究センター専任研究員・准教授  
テーマ : 2016年度入学者追跡調査報告—全学的観点から—

2022年の大阪市立大学と大阪府立大学との統合を控え、現在様々な議論がなされている中で、新大学における入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) の策定が重要な検討課題のひとつとなっています。その検討にあたっては、受け入れた学生の学びを点検し、現状把握を行うことが重要となります。

今回の大学教育研究セミナーでは、「2016年度入学者追跡調査報告—全学的観点から—」と題し、大学教育研究センター専任研究員である平知宏先生から入学者追跡調査に関する報告を行っていただきました。ご報告では、同調査が2005年度から学内経費に基づき全学的なプロジェクトとして実施されてきたという調査の経緯が説明された後、分析で使用されたデータの特徴、分析の観点 (「基本的な観点」と「応用的な観点」)、分析の結果等が報告されました。ご報告の後には、平先生と参加者の方々の間で活発な質疑応答が行われました。

セミナー実施後の参加者アンケートでは、大学教育の成果検証に役立つ内容だった、発表で説明されていたモデルで学生の成長に関する理解が深まった、新大学に向けて関係者で学生の現状を把握する重要性が理解できた等の感想や意見が寄せられました。

文責：橋本智也